

い出しと、高度成長政策による環境破壊に對して茨城県民が明確に反対の意志を表明し、県民本位の水利利用の方向を打ち出した点で、極めて重要な出来事であった。

#### 民主主義をじゆうりん、強行否決

「霞ヶ浦の水質浄化」の請願は、私が所屬していた農林水産委員会に付託されました。私は採択のために積極的に奮闘し、万場一致で採択したわけです。十一月二十一日の本会議で、自民党の農林水産委員長は「霞ヶ浦の浄化は、二三〇万県民の願望であり、採択した」と報告したほどだったのです。

このことは、「霞ヶ浦の浄化」は、自民党の一部を除いた圧倒的な県民の願望であり、正義の要求であることが証明したものと いえます。

最後に私は、自民党の暴挙を糾弾するとともに、霞ヶ浦の浄化と住民本位の水利利用は、県民の力を結集して闘いを前進させるなら必ずできるものと考え、みなさんとともに闘う覚悟です。

(茨城県会議員)

#### 四人の話 高浜入干拓取材記

中 沢 玲 子

#### 一、玉里村長の話

事の起こりはね、漁ではめしは食えない。だから干拓して農業できるようにして、それを受けて、要求してやれるようになったというわけです。漁はなみがありますから、取れる時と取れない時と、水が悪くなったので魚の種類も変わりましたね。

干拓を反対しているのは、佃煮屋などの加工業者とか、仲買さんで、漁がなくなれば仕事がへるという原因でしょうね。漁師は三十名程が反対で、賛成はあと全部です。魚田を作って計画的にやれる場所もできるわけですからね。ええ、希望者は全部入れます。入植と増反です。新しく入ってくる人と周辺の人が居ながらにして農業をやるというわけです。

そう、干拓には一反歩百万かかります。千二百町歩です。

それと、自然を壊すというが、これは破壊しない、なぜって水と緑を置き換えるだけですからね。